

【2023 年度】大学入試センター・アドミッションリーダー研修

現場の実践から学ぶ障害のある 受験生への合理的配慮の実施

日時：2023 年 6 月 15 日 (木)・16 日 (金)

場所：大学入試センター (対面) (東京都目黒区駒場 2-19-23 駒場東大前駅より徒歩 6 分) ・

オンライン (Zoom 開催)

(対面の場合)

参加費：4,000 円 定員 50 名

対象者：入試において障害学生配慮に関わっている又は将来的に関わり得る大学職員・教員

※受講証発行

(オンラインの場合)

参加費：無料 定員 300 名

対象者：入試や障害学生支援といった話題に関心を有する大学関係者 (教員を目指す学生含む) 及び高校教員

※6 月 15 日 (木) の「はじめに」、「講演①」、「講演②」のみ対象

協力：HEAP (高等教育アクセシビリティプラットフォーム)

プログラム

6 月 15 日 (木)

13:30~14:10

はじめに「本研修の概要、入試における「合理的配慮」とは何か」

【南谷和範 (大学入試センター研究開発部教授)】

14:10~15:10

講演①「共通テストにおける受験上の配慮について」

【川岸哲也 (大学入試センター事業部事業第一課長補佐)

/桑山一也 (大学入試センター試験問題調査官)】

15:10~15:25 (休憩)

15:25~16:15

講演②「高等学校での合理的配慮について」

【桑山一也 (大学入試センター試験問題調査官)】

16:15~16:25 (休憩)

16:25~17:30

グループワーク

「各大学での合理的配慮に関する課題」

6 月 16 日 (金)

10:00~12:00

講演③「障害児教育における ICT 機器の活用の実際」

【山口俊光 (新潟市障がい者 ICT サポートセンター/
新潟大学・特任講師)】

グループワーク

12:00~13:15 (休憩)

13:15~15:15

講演④「大学における実践 —障害のある受験生対応と
テストアコモデーション (入学試験・修学支援)」

【村田淳 (京都大学学生総合支援機構・准教授/
DRC (障害学生支援部門)・チーフコーディネーター)】
グループワーク

15:15~15:25 (休憩)

15:25~16:00

総合討論

参加を希望される方は、下記 URL にて申込方法をご確認下さい。

(5 月 19 日 金曜日 締切)

<https://www.dnc.ac.jp/research/koukai/>



趣旨

国内の高等教育機関では、2016年の障害者差別解消法施行以後、障害のある学生の就学環境整備が進められてきました。こうした整備の進展は、障害のある受験者のための入学試験や定期考査における配慮も例外ではなく、一定の定式化が可能な段階に入っています。

他方で、近年の新しい動きとして、来年(2024年)には障害者差別解消法の一部改正が行われ、これまで努力義務とされてきた私立大学についても障害のある学生に対する合理的配慮の提供が法的義務として求められることとなります。また、2022年の国連障害者権利委員会による日本政府への勧告は、障害者の高等教育就学に関わる課題の指摘も含み、一層踏み込んだ障害学生配慮の包括的な推進が求められることも予想されます。

本研修ではこうした今般の状況を踏まえ、大学入試を中核として関連トピックを織り込み、障害学生配慮の実施方法や実践のポイントについて学習できる機会を提供します。特に、国内の試験における配慮の一つの参照基準として機能している大学入学共通テストにおける配慮の実際を詳述し、大学での個別入試に対しての意義や活用の要点を紹介します。また、近年の障害児(者)教育の場で重要な役割を果たし受験者から入試での使用が申請されることの多いICT機器(支援技術)について、これまで触れる機会のなかった参加者の方にも実感のある知見を得られるワークショップを行います。これらを踏まえて有機的な学内連携による効率的で充実した入試配慮を実現するための材料を持ち帰っていただくことが本研修の最終到達点です。

講演概要

南谷 和範:「本研修の概要、入試における「合理的配慮」とは何か」:障害のある受験者への合理的配慮を実施する上での基本的な考え方を説明します。また、多様な大学からの参加が予想される本研修において、参加者それぞれの抱える課題に応じて実践に生かせる知見を持ち帰るための二日間の内容の聞き方や特に注目すべきポイントを予め説明します。

川岸 哲也/桑山 一也:「共通テストにおける受験上の配慮について」:大学入試センターが実施する大学入学共通テストにおける受験上の配慮について説明いたします。内容としては、①配慮者数の推移、②配慮申請等について(申請から配慮事項の決定及び試験当日までの流れ等)、③受験上の配慮における問題作成についてです。

桑山 一也:「高等学校での合理的配慮について」:義務教育段階で行われてきた具体的な配慮は、高校入試を経て高等学校ではどのように実施され、大学入試につながっていくのかについて、配慮申請の多い「発達障害」を中心に考えます。

山口 俊光:「障害児教育におけるICT機器の活用の実際」:小学校や中学校、高等学校、特別支援学校では障害の状況に応じてICT機器を活用した配慮が行われています。この講演では実際に子どもたちが教室で授業を受けたり定期試験を受けるときに使っているテクノロジーを紹介します。また、会場にICT機器やその周辺に取り付ける支援機器を展示します。グループワークではそれらの機器を使って障害特性に合わせたICT機器の活用方法を実際に体験します。

村田 淳:「大学における実践 ―障害のある受験生対応とテストアコモデーション(入学試験・修学支援)」:障害のある受験生への対応は、大学説明会やオープンキャンパスなど、様々な機会でもその必要性が生じます。また、入学試験での合理的配慮(テストアコモデーション)については、適切な理解にもとづいた対応が求められており、これは入学後の定期試験などでも同様です。本企画では、障害のある受験生・学生に関するテストアコモデーションを考える機会とします。

参加申込みについて

※原則として先着順としますが、勤務先での役割やこれまでのご経験等をもとに調整させていただくことがありますので、ご了承下さい。

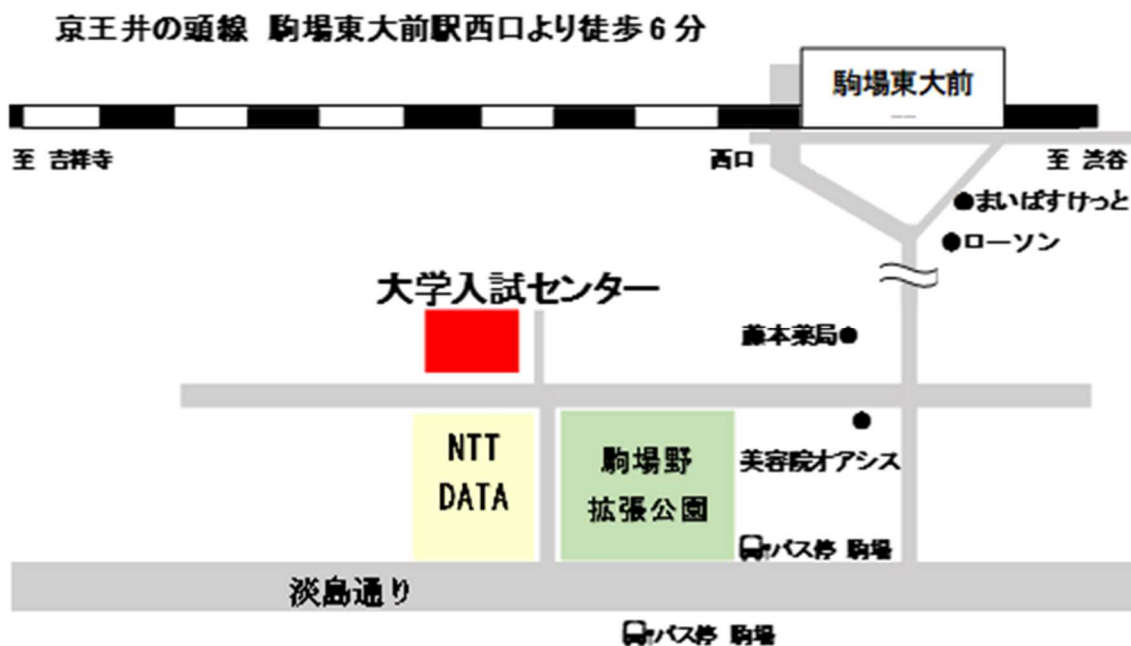
※参加費の振込に関する詳細は、参加確定のお知らせとともにお伝えします。

※いただいた情報は、当該研修の受講及び研修後の連絡に関わる用途以外には使用いたしません。取扱いには十分注意し、個人情報の保護に関する法律その他の関連法令を遵守し厳重に管理いたします。

ご参加の際の留意点

- ・本研修（オンライン）は、ウェブ会議システム（Zoom ミーティングを予定）により実施いたします。インターネット環境、PC 等端末（Web カメラが必要）のご用意をお願いいたします。
- ・本研修の内容の録画・録音は禁止いたします。
- ・本研修は、記録、研究や報告等のため録画を行うことがありますので、ご了承下さい。
- ・本研修（対面）では、事前課題及び事後課題を課します。課題内容については、参加者決定後にお知らせします。
- ・対面での参加者について、事前課題の提出、研修当日の参加、事後課題の提出を確認後、受講証をお送りします。
- ・キャンセル待ちの方がおられることがありますので、キャンセルされる場合は必ず次のメールアドレスまでご連絡下さい。 koukai@cen.dnc.ac.jp

会場までの地図



(お問合せ)

独立行政法人大学入試センター

koukai@cen.dnc.ac.jp

申込期間：4月28日(金)～5月19日(金)